

「ふる郷の木づくりプロジェクト」に取り組む背景と事業概要

目指す姿



- ・森林資源の循環利用
(林業・木材産業の活性化)

新たな展開 (H29～H33)

ふる郷の木づくり プロジェクト

- 【生産拡大】**
- 主伐の推進
 - 更なる低コスト化
- 【需要拡大】**
- 県産木材の安定供給体制の確立
 - デザイン力を活かした県産木材のイメージアップ
 - 多様な木づくりの推進

- 【成果目標】**
- 木材生産量
15万m³ ⇒ 21万m³
(H28) (H33)
 - ※年間成長量の約半分
 - 木材消費量
8万m³ ⇒ 11万m³
(H28) (H33)
 - ※県内木材消費量の約半分

これまでの取組 (H19～H28)

現状



- ・林業生産活動の停滞
- ・県産木材の利用低迷

- ・低コスト生産に向けた関係者との合意形成 (丸太生産コストの低減、生産性の効率化の推進)
- ・高性能林業機械の普及
- ・県産木材の生産体制づくり (板材の規格統一)
- ・川上～川下までの県産木材利用の気運づくり (地産地消の応援団登録数の増加)

《情勢変化》

- ・家具等への国産材利用の取組
- ・未利用木材(低質材)の需要増加
- ・新たな主伐・造林技術等の開発

《課題》

- ・県産木材の認知度アップ
- ・県産木材の多角的利用
- ・規格統一部材の民間施設への普及
- ・持続的な林業経営
- ・更なる低コスト化